

バス事業におけるグリーン経営認証基準

新規審査用

大項目	小項目	認証基準	審査で確認する書類の例
1. 環境保全のための仕組み・体制の整備	1-1 環境方針	会社、事業所等の環境保全への取組みを示す環境方針を策定しており、環境方針には法規制の遵守など基本的な取組みが示されている[レベル1]	<ul style="list-style-type: none"> • 下記のものに環境方針が最高経営層によって文書化され、かつ法規制の遵守が盛り込まれていることが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 環境方針または経営方針
	1-2 環境行動計画の作成・見直し	現状の環境保全活動への取組み状況に関する評価結果や、検討した取組み改善策を踏まえ、今後の目標や目標達成へ向けた具体的な取組み内容などを盛り込んだ行動計画を作成（見直し）している [レベル1]	<ul style="list-style-type: none"> • 下記のものに環境保全活動への取組み（グリーン経営チェックリストに基づく）についての現状把握とその課題、目標、目標達成に向けた具体的な取組み内容が盛り込まれていることが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 環境行動計画
	1-3 推進体制	環境保全に関する管理責任者および必要に応じて環境保全を推進するための組織を定めている [レベル1]	<ul style="list-style-type: none"> • 管理責任者が特定されていることを示す下記のいずれかのものが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 社内通達文書、社内報または掲示物 ◦ その他文書化されたもの • 推進組織を定めている場合には、下記のものが必要。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 組織図または体制表
	1-4 従業員に対する環境教育	環境に関わる法規制や行政指導の内容等を従業員に伝達している[レベル1]	<ul style="list-style-type: none"> • 遵守しなければならない環境関連法規、条例及び規制等を整理していることを示す下記のものが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 遵守しなければならない環境関連法規制等を取りまとめたもの • 下記のいずれかにより法規制や行政指導が伝達されていることが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 教育資料またはバス協会の情宣物 ◦ 社内通達文書、社内報、掲示物または議事録

大項目	小項目	認証基準	審査で確認する書類の例
2. エコドライブの実施	2-1 燃費に関する定量的な目標の設定等	走行距離および燃料の使用状況について、会社として把握している[レベル1]※表1	<ul style="list-style-type: none"> 表1の記載内容を裏付ける下記のものが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> 走行距離・燃料使用量一覧表または集計表
		エコドライブについて、会社として燃費に関して定量的な目標を設定している[レベル2]※表2	<ul style="list-style-type: none"> 表2の記載の通り目標が設定されていることを裏付ける下記のいずれかのものが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> 環境方針、環境目標 経営目標 社内通達文書、社内報または掲示物
	2-2 エコドライブのための実施体制	エコドライブを推進するための責任者を定めている[レベル1]	<ul style="list-style-type: none"> 責任者が特定されていることを示す下記のいずれかのものが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> 社内通達文書、社内報または掲示物 その他文書化されたもの
		ドライバーに対して、エコドライブに関する基礎的な知識について、5項目以上の教育・指導を行っている[レベル1]※表3	<ul style="list-style-type: none"> 表3の取組項目のうち、5項目以上について教育・指導を行っていることを示す下記のいずれかのものが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> 教育資料 社内通達文書、社内報または掲示物 教育記録
2-3 アイドリングストップの励行	アイドリングストップの励行を重点的に取組むよう周知している[レベル1]	<ul style="list-style-type: none"> 下記のいずれかにより周知されていることが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> 教育資料 社内通達文書、社内報または掲示物 教育記録 	
	環境保全への取組について、車内やバス停等にステッカーやポスターを掲示したり車内放送を行う等により、利用者に対して理解を求めている[レベル1]	<ul style="list-style-type: none"> 理解を求めていることを示す下記のいずれかのものが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> 社内通達文書 ステッカー、ポスター等（写し可） 	
	アイドリングストップに関する具体的な実施項目を定めている [レベル2]	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な実施項目を定めていることを示す下記のいずれかのものが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> 教育資料 社内通達文書、社内報または掲示物 教育記録 	
2-4 推進手段等の整備	エコドライブへの取組の重要性や取組姿勢を示す表示を運転席まわりに掲示し、ドライバーへの指導を行っている[レベル1]	<ul style="list-style-type: none"> 指導していることを裏付ける下記のいずれかのものが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> 車内掲示物（写し可） 教育資料、教育記録 社内通達文書、社内報または掲示物 エコドライブの指導事項が記入された運転日報、運転者手帳、エコドライブの手引書等乗務員に配布している資料 	

大項目	小項目	認証基準	審査で確認する書類の例
3. 低公害車の導入	3-1 低公害車等：導入目標の設定と取組	低公害車等を導入している[レベル1] ※表5	<ul style="list-style-type: none"> 表5の導入実績台数の記載内容を裏付ける下記のものがが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> 車両台帳
		低公害車等の導入について計画を策定し、目標達成に向けて導入に取り組んでいる[レベル2] ※表5	<ul style="list-style-type: none"> 表5の導入目標の記載内容を裏付ける下記のものがが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> 導入計画表
3-2 最新規制適合ディーゼル車：導入目標の設定と取組		保有しているディーゼル車が何年規制に適合しているかについて把握している[レベル1] ※表7	<ul style="list-style-type: none"> 表7(A項)の記載内容を裏付ける下記のものがが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> 車検証の写しまたは車両台帳
		(営業所がNOx・PM法対策地域内にある事業者のみ) NOx・PM法に基づく、今年度の規制対象となる車両の台数について把握している[レベル1] ※表7	<ul style="list-style-type: none"> 表7(B項)の記載内容を裏付ける下記のものがが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> 車検証の写しまたは車両台帳
		最新規制適合ディーゼル車の導入について計画を策定し、目標達成に向けて導入に取り組んでいる[レベル2] ※表7	<ul style="list-style-type: none"> 表7(C項)の記載内容を裏付ける下記のものがが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> 3年以上の期間を設定した導入計画表
3-3 地域で定める低公害車等に関する制度への取組み		(東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、兵庫県、大阪府および富山県ディーゼル車等の運行規制に関する条例の定める地域を運行する車両がある場合のみ) 今年度、条例に定める運行規制の対象となる車両の台数を把握している[レベル1] ※表9	<ul style="list-style-type: none"> 表9の記載内容を裏付ける下記のものがが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> 車検証の写しまたは車両台帳

大項目	小項目	認証基準	審査で確認する書類の例
4. 自動車の点検・整備	4-1 点検・整備の実施体制	点検・整備について、ドライバーを対象に教育を行い、情報の提供を行っている[レベル1]	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドライバーに対し点検・整備に関する教育、情報提供を実施していることを示す下記のいずれかのものがが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育資料 ○ 社内通達文書、社内報または掲示物 ○ 教育記録
	整備員に対して、環境保全への観点からの点検・整備に関する事項について、5項目以上の教育・指導を行っている[レベル1] ※表10	<p>表10の記載内容を裏付ける下記のものがが必要です。</p> <p><自社整備員がいる場合></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境保全の観点から点検・整備で配慮する5項目以上の項目を定めて、教育・指導を行っていることを示す下記のいずれかのものがが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育資料 ○ 社内通達文書、社内報または掲示物 ○ 教育記録 <p><整備を委託している場合></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境保全の観点から点検・整備で配慮する5項目以上の項目を定めて、整備事業者に対して整備を実施するよう申し入れを行っていることを示す下記のものがが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 申入れ文書 	

大項目	小項目	認証基準	審査で確認する書類の例
4. 自動車の点検・整備	4-2 車両の状態に基づく適切な点検・整備	車両の状態を日常から把握し、環境に対して影響のある現象が確認された時には、直ちに点検・整備を実施している[レベル1]	
		LPG車の排ガスの臭いが強くなってきた時、ディーゼル車の排ガスの汚れがひどくなってきた時には、直ちに点検・整備を実施している	<ul style="list-style-type: none"> ・LPG車の排ガスの臭いが強くなってきた時、ディーゼル車の排ガスの汚れがひどくなってきた時に、点検・整備を実施していることを示す下記のものがが必要です。 ○LPG車の排ガスの臭いが強くなっているか否か、ディーゼル車の黒煙が増加しているか否かを確認する方法（いつ、誰が、どのように等）および、その判断基準を定めた書類 ○確認結果の記録 ○異常があった場合の点検・整備の記録
		燃費が悪くなってきた時には、直ちに点検・整備を実施している	<ul style="list-style-type: none"> ・燃費が悪くなってきた時に、点検・整備を実施していることを示す下記のものがが必要です。 ○燃費が悪くなったか否かを確認する方法（いつ、誰が、どのように等）および、その判断基準を定めた書類 ○確認結果の記録 ○異常があった場合の点検・整備の記録
		エアコンの利きが悪くなってきた時には、直ちに点検・整備を実施している	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンの利きが悪くなった時に、点検・整備を実施していることを示す下記のものがが必要です。 ○エアコンガスが減っているか否かを確認する方法【いつ、誰が、どのように（サイトグラス、温度計、圧力計、ガス漏れテスター、石鹼水塗布又は体感等による確認）】および、その判断基準を定めた書類 ○確認結果の記録 ○異常があった場合の点検・整備の記録
車両に異常音が発生した時には、直ちに点検・整備を実施している	<ul style="list-style-type: none"> ・車両に異常音が発生した時に、点検・整備を実施していることを示す下記のものがが必要です。 ○車両に異常音が発生しているか否かを確認する方法（いつ、誰が、どのように等）および、その判断基準を定めた書類 ○確認結果の記録 ○異常があった場合の点検・整備の記録 		

大項目	小項目		認証基準	審査で確認する書類の例
4. 自動車の点検・整備	4-3 法定点検に加えて環境に配慮した独自の基準による点検・整備の実施	4-3-2 エアフィルタ関連	エアフィルタの清掃・交換にあたっては、走行距離について独自の基準を設定し、実施している[レベル2]	<ul style="list-style-type: none"> 独自の基準を設定し、エアフィルタの清掃・交換を実施していることを示す下記のものがが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 基準を定めた書類 ○ 点検・整備の記録または納品書・請求書
		4-3-3 エンジンオイル関連	エンジンオイルやエンジンオイルフィルタの交換にあたっては、走行距離、または使用期間について独自の基準を設定し、実施している[レベル2]	
			エンジンオイルの交換にあたっては、走行距離、または使用期間について独自の基準を設定し、実施している	<ul style="list-style-type: none"> 独自の基準を設定し、エンジンオイルの交換を実施していることを示す下記のものがが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 基準を定めた書類 ○ 点検・整備の記録または納品書・請求書
			エンジンオイルフィルタの交換にあたっては、走行距離、または使用期間について独自の基準を設定し、実施している	<ul style="list-style-type: none"> 独自の基準を設定し、エンジンオイルフィルタの交換を実施していることを示す下記のものがが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 基準を定めた書類 ○ 点検・整備の記録または納品書・請求書
		4-3-5 排出ガス減少装置関連	（〔後付か否かにかかわらず〕 排出ガス減少装置を装着している場合のみ） 排出ガス減少装置（DPF、酸化触媒等）については、メーカーの指定した手順に従ってメンテナンスを実施している[レベル1]	<ul style="list-style-type: none"> メーカーの指定した手順に従ってメンテナンスを実施していることを示す下記のものがが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 手順書 ○ 点検・整備の記録
		4-3-6 その他	下記の箇所に対しては、走行距離、または使用期間について独自の基準を設定し、実施している[レベル2]	
			タイヤの空気圧の点検・調整は、独自の点検期間を設定し、空気圧の測定をもとに実施している	<ul style="list-style-type: none"> タイヤ空気圧の測定について独自の点検期間を設定し、点検・整備を実施していることを示す下記のものがが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 基準を定めた書類 ○ 点検・整備の記録
			エアコンフィルタの点検は、使用期間について独自の基準を設定し、実施している	<ul style="list-style-type: none"> 独自の基準を設定し、エアコンフィルタの点検を実施していることを示す下記のものがが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 基準を定めた書類 ○ 点検・整備の記録
			エア漏れ（高圧空気の漏れ）の点検は、使用期間について独自の基準を設定し、実施している	<ul style="list-style-type: none"> 独自の基準を設定し、エア漏れ（高圧空気の漏れ）の点検を実施していることを示す下記のものがが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 基準を定めた書類 ○ 点検・整備の記録

大項目	小項目	認証基準	審査で確認する書類の例
5. 廃棄物の適正処理およびリサイクルの推進	5-1 従業員に対する廃棄物に関する教育	廃棄物の発生抑制（発生量削減）、再使用（繰り返し利用）、リサイクル（再生利用＝再資源化）および適正処理の推進について従業員に対して指導を行っている[レベル1]	<ul style="list-style-type: none"> ・ 従業員に対して、廃棄物の発生抑制（発生量削減）、再使用（繰り返し利用）、リサイクル（再生利用＝再資源化）および適正処理の推進について教育をおこなっていることを示す下記のいずれかのものがが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育資料 ○ 社内通達文書、社内報または掲示物 ○ 教育記録
	5-2 廃棄物の適正な管理	廃油、廃タイヤ、廃バッテリーの処理に際して、処理やリサイクルを適切に実施している業者に委託している[レベル1]	
		廃油の処理に際して、処理やリサイクルを適切に実施している業者に委託している	<p><購入先の販売店や整備事業者による引取りか、あるいは第三者への売却の場合></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 販売店や整備事業者等へ委託していることを示す下記のものがが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 委託先名称が記載された取引書類 <p><排出事業者となっている場合></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 処理事業者へ委託していることを示す下記のものがが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 産業廃棄物処理委託契約書 ○ 産業廃棄物管理票（マニフェスト）
		廃タイヤの処理に際して、処理やリサイクルを適切に実施している業者に委託している	<p><購入先の販売店や整備事業者による引取りか、あるいは第三者への売却の場合></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 販売店や整備事業者等へ委託していることを示す下記のものがが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 委託先名称が記載された取引書類 <p><排出事業者となっている場合></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 処理事業者へ委託していることを示す下記のものがが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 産業廃棄物処理委託契約書 ○ 産業廃棄物管理票（マニフェスト）
		廃バッテリーの処理に際して、処理やリサイクルを適切に実施している業者に委託している	<p><購入先の販売店や整備事業者による引取りか、あるいは第三者への売却の場合></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 販売店や整備事業者等へ委託していることを示す下記のものがが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 委託先名称が記載された取引書類 <p><排出事業者となっている場合></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 処理事業者へ委託していることを示す下記のものがが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 産業廃棄物処理委託契約書 ○ 産業廃棄物管理票（マニフェスト）

大項目	小項目	認証基準	審査で確認する書類の例
6. 管理部門 (事務所) における環 境保全の推 進	6-1 管理部門(事務所) における環境保全	事務所内での環境保全の取組について、従業員に周知している [レベル1]	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ エコマーク製品等を優先的に購入する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下記のいずれかにより周知されていることが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育資料 ○ 社内通達文書、社内報または掲示物 ○ 教育記録
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 不必要な照明の消灯を徹底する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下記のいずれかにより周知されていることが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育資料 ○ 社内通達文書、社内報または掲示物 ○ 教育記録
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 空調機器を適正温度に設定する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下記のいずれかにより周知されていることが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育資料 ○ 社内通達文書、社内報または掲示物 ○ 教育記録
		<ul style="list-style-type: none"> ・ コピー用紙等の紙使用量削減に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下記のいずれかにより周知されていることが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育資料 ○ 社内通達文書、社内報または掲示物 ○ 教育記録
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 分別回収ボックスを設置し、分別回収に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下記のいずれかにより周知されていることが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育資料 ○ 社内通達文書、社内報または掲示物 ○ 教育記録
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 使い捨て製品の購入を控える 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下記のいずれかにより周知されていることが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育資料 ○ 社内通達文書、社内報または掲示物 ○ 教育記録